

[CASE 08]

三浦 ひかりさん

酒田市消防団 第5分団

大好きな場所を守りたい 入団したのは最古の女性消防団



大学時代に授業で訪れてから、すっかり飛島に魅せられた三浦さん。東根市出身の彼女は大学卒業と同時に移住し、観光ガイドの仕事をしながら消防団活動にも励んでいます。

「酒田市飛島は、実は日本で初めて女性消防団が発足した土地なんです。昔はほとんどの男性が沖に漁へ出てしまう環境だったため、女性消防団が生まれたのだと聞きました。」

飛島で女性消防団が初めて結成されたのは1910年とされ、島の安全を住民全員で守ってきた歴史があります。そんな経緯もあってか、飛島の女性消防団は男性と全く同じ活動をしているのだと三浦さんは続けます。

「重いポンプの上げ下ろしなど力仕事の部分で、男性の腕力には及ばない場面がどうしてもありますね。ですが全員が同じ活動することで、より仲間として結束できていると感じます。訓練の後みんなでラーメンを食べに行ったり、普段はあまり話をする機会のない漁師さんとお話ができたりして、飛島での暮らしになじみやすかったと思います。」

Q1 どんな時に「活動していて良かった」と思いますか？

飛島は女性が消防団として活躍した歴史が長い土地なので、先輩方に昔のお話を聞けたことがとても楽しいです。男性以上に責任感をもって取り組んでいたりと、今でもきびきび動ける方も多かったり、自分もそうなれるように精進したいと思いますし、観光ガイドの仕事にも良い影響をもらっています。



Q2 消防団活動はどうやったら無理なく続けられますか？

私は入団してからおよそ8年になりますが、振り返ればあっという間だったようにも感じます。たとえば消防訓練となれば緊張感をもって参加しますが、終わればみんなホッとして笑顔になるんです。達成感と言えば少し大きですが、そういうちょっとしたことの積み重ねなのだと思います。



なんにも無いようで何でもあるのが飛島です。美味しい海産物やきれいな星空など、飛島の魅力をぜひ体験してくださいね！



1. 三浦さんが働く合同会社とびしまのみなさん
2. 小型船舶2級免許も所持。観光ガイドでは操縦もします
3. 着任当初のメンバーとの記念写真